



広東餃子房西神戸店の摩訶不思議誕生秘話！

店主の話 vol.3

皆様ようこそ来店下さいました 私は店主の山本でございます。

本日も 食事の間に箸休めとなる私の体験したお話をいたします。

三回目の今回は伊川谷の広東餃子房が開店した当時のお話です。

平成 15 年（2003 年）5 月、当時てんじくは明石駅前でココナッツピアガーデンを夏季に営業しておりました。

その用意に冷凍1トントラックで玉津インターから明石川沿いに南へ下っていた時のことです。

旧神明道路（21 号線）と交わっている所に上明石橋があります。信号を過ぎた所、右に四ツ橋組という会社がある道路上にとんでもないものを見付けました。

大きな蛇（多分青大将）がしっぽの方を車に踏まれのたうっていたのです。

車の通行量が多かったので通り抜けようと一瞬思いましたが、そのままだと必ず後続車に轢かれるため、蛇前に車を止め周りの迷惑そうな眼の中、近くに落ちていたビニール袋とビニール傘でつかみ、左側は明石川の堤防で鬱蒼とした草藪でしたのでその草むらに「気を付けてな」「車道に出て来るなよ」と言いながら放しました。

手には握った時の太い感覚が残り結構きついものがありました。小さな頃より絵本で浦島太郎・舌切り雀・笠地蔵・花咲かじいさん等を読んで神様からの褒美を期待していた私は子供の頃から虫や動物を助けるのを常としていたものでした。その事があってすぐの頃でした。其処から東へ旧神明沿いに行った所にある土地が新聞に近畿財務局の競売物件として出ているのを見付けました。土地は 226 坪、現地に行くと道から 2 メートル弱下がった土地で以前には畑として使われていた様でした。



現地

間口も結構あったので入札することにしました。

今まで3回入札が行われていましたが誰も入札していませんでしたので土地値は下がり路線価よりもだいぶ下がっていました。

いよいよ落札日が過ぎたのですが一向に連絡がありません。

ネットにも落札者名が公表されません。どうい事だろう？と思っていたところへ財務局より電話があり、あなたは金額の前に「¥マーク」を入れ忘れていたため入札できませんでした。との事でした・・・¥マークでそんなに大事なの？笑い話にもならないと落ち込んでいましたら、他に入札がなかったため今なら最低価格で購入できますとのこと。入札した時はある程度上乗せしてましたので「¥マーク忘れ」がラッキーな事になりました。



当時の写真